



平成 20 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 日本ビクター株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 国彦
(コード番号 6792 東証第一部・大証第 1 部)
問合せ先 取締役経理部長 武田 雅亮
(TEL 045-450-2837)

当社サーキット事業の譲渡に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 1 月 30 日開催の取締役会において、平成 20 年 3 月 31 日をもって株式会社メイコーに対し、下記のとおりサーキット事業を譲渡することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業譲渡の理由

当社は現在、経営再建策「アクションプラン 2007」を推進しており、民生、エンタテインメント、プロシステムを今後の当社の基幹 3 事業に定め、全社の事業構造と経営体質の改革に取り組んでおります。

このうち、部品事業については、事業分野ごとに事業譲渡や分社化を視野に入れた抜本的な構造改革の検討を行う中で、電子機器向けプリント配線板の製造・販売を行っているサーキット事業に関して、株式会社メイコーとの間で事業譲渡の協議検討を進めてまいりました。

その結果、ビルドアップ高密度多層基板で薄板化と絶縁性能に優れた V I L 工法など特長ある技術や人材、ものづくりノウハウを保有している当社のサーキット事業の譲渡が、「ハイエンド基板、モジュール・パッケージ基板」分野への拡大を重点戦略として推進している株式会社メイコーの今後のプリント配線事業発展に貢献でき、なおかつ、サーキット事業に従事する当社従業員の雇用確保と既存顧客への供給責任の継承にもつながると判断し、先の「アクションプラン 2007」における改革の方向性とも一致する為、この度、同事業の譲渡について決議いたしました。

今回の事業譲渡により、当社は民生、エンタテインメント、プロシステムを基幹事業に今後の経営資源を集中するとともに、事業の選択と集中による全社の経営再建をさらに加速させていく所存です。

2. 事業譲渡の内容

(1) サーキット事業の概要

高密度ビルドアップ多層基板（V I L 基板）の設計、製造、販売及び関連技術の開発。

(2) サーキット事業の平成 19 年 3 月期における経営成績

	サーキット事業部 (a)	※当社 19 年 3 月期実績 (b)	比 率 (a / b)
売 上 高	5,528 百万円	742,685 百万円	0.7%
売 上 総 利 益	△695 百万円	239,762 百万円	—
営 業 利 益	△1,061 百万円	△5,656 百万円	—
経 常 利 益	△1,392 百万円	△11,695 百万円	—

(※)連結ベース金額

(3) 譲渡資産、負債の項目および金額（平成 19 年 12 月 31 日現在）

資 産		負 債	
項 目	帳簿価額	項 目	帳簿価額
流 動 資 産	391 百万円	流 動 負 債	0 百万円
固 定 資 産	834 百万円		
合 計	1,225 百万円	合 計	0 百万円

(4) 譲渡価額および決済方法

譲渡価額は、3 月末における譲渡対象資産の評価額をベースに決定します。

また、現金による決済を予定しています。

(5) 従業員の転籍

全従業員（150 名）は日本ビクター（株）を退職後、株式会社メイコーに再雇用の形で転籍の予定です。

3. 事業譲渡先（株式会社メイコー）の概要（平成 19 年 3 月 31 日現在）

- (1) 名 称 株式会社メイコー
- (2) 主な事業内容 プリント配線板の開発、製造、販売
- (3) 設立年月日 1975 年 11 月 25 日
- (4) 本社所在地 神奈川県綾瀬市大上 5 丁目 1 4 番地 1 5 号
- (5) 代 表 者 代表取締役社長執行役員 名屋佑一郎
- (6) 資 本 金 88 億 6,065 万円
- (7) 従 業 員 数 単独：668 名
連結：7,449 名（国内 1,462 名、海外 5,987 名）

(8)大株主構成および持株比率（平成19年3月31日現在）

名屋佑一郎	30.23%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	7.69%
日本トラスティサービス信託銀行株式会社	4.29%
名幸興産株式会社	3.54%
名屋晴行	2.82%

(9) 当社との関係

資本関係及び人的関係はありません。尚、弊社の民生機器事業におきましては同社及び同社子会社（海外含む）からプリント配線板の購入を行っております。

4. 日程

平成20年1月30日	取締役会決議
平成20年1月30日	事業譲渡契約締結
平成20年3月31日	事業譲渡期日

5. 今後の見通し

譲渡価額が決定次第、今期への影響を含め開示いたします。

以 上